

全国連盟通信

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2 大住ビル402
TEL:03-3986-5401 FAX:03-3986-5403
Eメール:zenkoku@njsf.net ホームページ:http://www.njsf.net

発行責任者 石川正三

知恵と力を出し合い 実行する理事会へ！！

「スポーツの楽しみをすべての人に広げよう」という表題をかかげた第33回全国総会方針を実行する第1回理事会が4月7日、8日に行われました。総会で選出された理事会は、全国種目組織、都道府県連盟、前期理事会から推薦された33人で構成されています。そのうち初めて理事を務める方が7人、30～40歳代の理事が40%を占めるなど、新鮮な息吹を感じさせる執行体制がつけられました。

会長としての私の仕事は、スポーツ連盟の次世代を担う新理事会の皆さんが知恵と力を出し合い、現在直面する課題の解決とともに、新たな活動・事業展開ができるよう下支えすることだと考えています。

第1回の理事会の中で早速、新しい理事さんから活発な質問、発言、提案があり、大変心強く感じました。例えば、全国卓球協推薦で岡山卓球協で活動する理事が誕生しましたが、岡山に県連盟をつくるために、京都のテニス協関係者の協力で岡山でテニスの出前大会をやることを検討しようということが話し合われました。このことは理事会後の情報交換を通じて、協力者のネットワークづくりや会場確保の対策など、具体的な努力が進められ、「何とかなるの

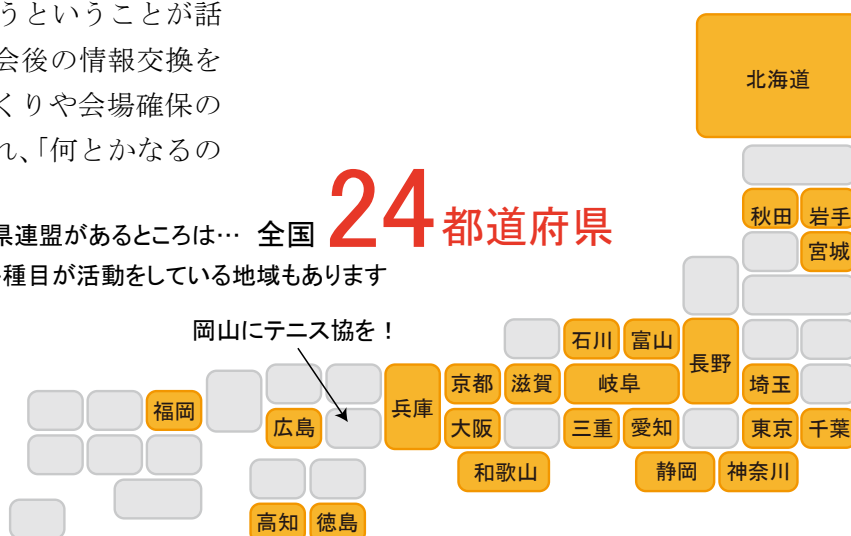
ではないか」となりつつあります。

このところ「休会状況」にあった高知県連盟理事会でも、全国役員の出陣にあわせて、徐々に野球協とテニス協の主要な役員に呼びかけ懇親会がもたれ、県連盟理事会の機能確立に向けた一歩が始まっています。

連盟組織の活性化、強化、空白県での県スポーツ連盟づくりはもちろん、「スポーツのひろば」の普及、公共スポーツ施設の実態把握と整備・運営の改善、スポーツ・オリンピックと平和、スポーツと憲法など、スポーツ連盟の各分野の課題の実行についても、「できることからまず実行」をモットーに理事のみなさんの挑戦を期待したいと思います。

「実行する理事会」の力で、全国種目組織、都道府県連盟の皆さんと心を通わせ、激励し合い、大きな前進への転換を実現しましょう。(会長 和食昭夫)

新日本スポーツ連盟都道府県連盟があるところは… 全国 **24** 都道府県
※都道府県連盟がなくても各種目が活動をしている地域もあります



第33回全国総会後の「第1回理事会」が、4月7日、8日都内で開催され、新理事7名全員が出席し積極的な発言もあり、第33期の出発になりました。

この理事会の開会で和食昭夫会長は、「組織的に伸びていない中で、総会では各地で頑張っている元気な発言や平和についての発言があった。ピョンチャン五輪は、南北朝鮮の平和に貢献している。理事会全員の力で頑張っていこう」と挨拶しました。

その後、「第33回総会の総括、評価と課題」について、総会への「来賓、メッセージを寄せていただいた団体」「代議員の都道府県、全国種目組織など出欠状況」「総会決定や理事の構成」「討論の特徴」「今後の課題」「総会アンケート」「総会決算」などについて意見交換しました。

理事会の基本的な機構は、「①スポーツ活動・組織局 ②スポーツ権・平和運動局 ③国際活動局 ④広報局 ⑤総務局の5局」とすることとし、各局の理事の配置について、下記のように決定しました。

また、「プロジェクトに関わりたいので総務部で」「空白地に親族がいて『協力できる』と言っている。出前大会のやり方を知らせてほしい」「資料の作成で、さらに詳細な内容を」「活動内容に詳しい人の補充が必要」など、具体的で積極的な提案や発言があり、深めることができました。

理事会では、新理事を対象とした「リーダー養成講座第3課スポーツ連盟の運営、規約・規程」を実施しました。理事会のまとめで石川正三理事長は「新しい理事の参加もあり活性化された。積極的な発言、提案もあり、変化が見られた。積極的な提案内容は見える形に実現していこう。そのために互いに頑張ろう」との発言がありました。

各機構の役割と運営 (敬称略)

①スポーツ活動・組織局＝スポーツ活動前進とその組織化について、具体的方針の提案、活動の把握、分析を行います。また、各組織のスポーツ活動内容の把握し、全国的課題についての調整、支援します。

*局長：宮内泰明 局員：小林章子、吉成克実、穴原康子、関戸弘充、柿崎勝、青木謙一、大淵康寛、菅原利幸、富内佳男

②スポーツ権・平和運動局＝スポーツ活動前進のための条件の整備のための活動、人権擁護、フェアブ

レイの普及、平和に貢献する活動(平和のつどいin広島、福島～東京～広島～長崎1500kmは反核平和マラソンなど)に取り組みます。

*局長：萩原純一 局員：青沼裕之、脇村元夫、間間至、中塚久子、太田正洋、岡本清、渋谷敏久

③国際活動局＝スポーツを通じて交流と友好を促進するため、参加者の調整、国際的なスポーツ情報の収集、国際活動の教訓化を行います。

*局長：長井健治 局員：神田孝、小川洋、桂由美子、藪並郁子 部員：伊賀野明、佐藤静雄、佐藤好行、松野俊一

④広報局＝広報4ツール(「スポーツのひろば」、ホームページ、「全国通信」、ニュース)を中心に、情報発信していきます。

*局長：渡辺紀雄 局員：園川峰紀、小山歩、橋本圭司、前川由香、佐藤信樹

⑤総務局＝各局間の調整、スポーツ連盟の実務を円滑に行うための活動に取り組みます。

*局長：佐藤信樹 局員：根岸清和、福島宏子、置田康典 部員：板垣美和子(財政、傷害見舞金)

各プロジェクト・委員会

●組織拡大推進委員会

各地のスポーツ連盟の新しい活動情報を収集し、ニュースでお知らせします。

*委員：佐藤、小林、石川

●種目組織プロジェクト

以下の種目について、各都道府県での種目組織を増やすこと、全国種目組織を作ること为目标に関係者と連携をとりながら取り組みます。

*バスケットボール：北川、太田、愛知バス協(予定)

*ソフトボール：関戸、富内、全国ソフト協(予定)

*武道(空手)和食、中塚、兵庫・岩手の空手クラブ

●公共スポーツ施設情報センター

全国の公共スポーツ施設の情報(予約システム、減免制度、コンベンション制度など)を集約して、各地のスポーツ連盟に提供します。(詳細は4頁参照)

*局長：北川 局員：スポーツ権局員、園川

●分担金・組織検討委員会

分担金納入方法や在り方、関連する組織規定、全国総会の運営方法などについて検討します。

*委員：石川、佐藤、置田、岡本、脇村

※プロジェクト・委員会のメンバーは、追加することもあります

3部門で課題に取り組む

スポーツ活動・組織局

3月10日～11日にかけて開催された全国総会で「すべての人にスポーツの楽しみを広げよう」と呼びかけたスローガンのもと、33期は会員数の減少～現状維持の状態を打破し、スポーツを楽しむ仲間が集まりスポーツ連盟の運動をより大きくしていくよう活動していきます。

今期は局の体制を1、スポーツ活動部門 2、スポーツ組織部門 3、全国スポーツ祭典部門の3部門に分け、個々の部門で課題や問題に取り組んでいきます。

スポーツ活動部門

スポーツ活動部門は日々のスポーツ活動を通じて組織力強化、組織拡大を進める部門です。いつでも、どこでも、だれもがスポーツを楽しみ、仲間づくりの輪を広げていくには何をすべきかを、検討、議論し実行していきます。また活動困難な組織の支援や種目懇談会も実施します。2019年6月頃を目安に組織拡大交流会議を開催する準備も行います。

スポーツ組織部門

スポーツ組織部門は、主に空白地域や空白組織の対策を行い、組織力強化、組織拡大を遂行していきます。新たな種目組織や地域連盟を立ち上げるためターゲットを決め目標達成に向け活動していきます。また、都道府県や種目組織の代表者名や連絡先がわかる組織図を次回理事会までに作成し、空白組織克服に活用できるよう用意します。空白組織対策事業助成制度の活用も呼びかけ、それぞれの組織で出前大会等の空白組織を克服する事業が旺盛に開催できるよう、財政的なサポートも引き続き行います。

全国スポーツ祭典部門

全国スポーツ祭典部門は、全国スポーツ祭典の実行委員会との調整、連絡等、スポーツ祭典全般の取り組みが潤滑に行われるよう進めていきます。

2018年の第32回全国スポーツ祭典は、「東北発 広げよう スポーツの輪」のスローガンのもと東北を中心に開催されます。主管の東北ブロック、全国種目組織、全国連盟は一体となって祭典運動の歴史と伝統を受け継ぎ発展させ、全国スポーツ祭典が成功するよう取り組んでいきます。



第32回全国スポーツ祭典ポスター

また2020年の33回全国スポーツ祭典は関東ブロックで開催されます。同時に東京オリンピック・パラリンピック開催の年でもあります。そのことから東京五輪が「真の平和のスポーツ祭典・国際連帯の絶好の場」となることを願い、今後2回の全国祭典は、連動して大きな視点から「協力・共同」を意識して開催、準備を進めます。また、2022年の全国スポーツ祭典は中国・四国ブロックでの開催(予定)に向け協議・準備を進めていきます。

その他としては、全国組織のない種目の支援や、地域組織の立ち上げ等をめざした、種目プロジェクトを立ち上げます。現在、バスケットボール、ソフトボール、空手の3種目のプロジェクトを立ち上げ、目標に向けて始動します。

(スポーツ活動・組織局長 宮内泰明)

「スポーツは平和とともに」の思いを人々に伝えよう！

今年も、国民平和大行進が始まりました。新日本スポーツ連盟は、東京～広島コースで、都府県連盟と種目組織の皆さんの思いをつないで、「スポーツは平和とともに」の桃太郎旗と「国民平和大行進で思いをつづるスポーツマンの記録」ノートを広島までリレーします。是非、各都府県連盟の皆さんに、そのための体制を整えていただくことを呼びかけます。



平和行進の引きつぎリュックサック&ノートを宣伝する萩原さん(左)
「スポーツは平和とともに」を掲げて歩く(右)

これまでは、反核平和の思いを世界の人々に届ける国民平和大行進でしたが、今年からは、日本政府が、「核兵器禁止条約を」批准させるために新たな決

意で歩く平和大行進です。スポーツ愛好者が「そだねえ！」と、反核平和の思いを伝える取り組みとして広くよびかけてください。

そして、8月4～6日まで繰り広げる「反核平和スポーツのつどいin広島」は、今年も多彩な企画が準備されています。

ここには、全国のスポーツ連盟組織から代表を派遣していただき、広島の現地で、大いにスポーツの分野から「反核平和」の思いを発信しましょう。今年のスケジュールは、下記のとおりです。

(スポーツ権・平和運動局長 萩原純一)

反核平和スポーツのつどいin広島

8月4日(土) 平和大好き卓球大会(ダブルス)

中区スポーツセンター

5日(日) 戦跡めぐり(13時～国際会議場1Fロビー)

語り部からお話を聞き勉強します。

広島平和記念資料館めぐり

「全国反核平和マラソン交流のタベ」

6日(月) 核兵器廃絶8.6 平和マラソン・ウォーキング(広島城公園)

広島～長崎500km反核平和マラソン出発式

「双葉の里」ピースウォーク

「公共スポーツ施設情報センター」活動開始！

ムムムなにそれ？

今期から、スポーツ権平和運動局の中に、「公共スポーツ施設情報センター」を設立し、活動を開始します。

公共スポーツ施設が減少する中で、「大会会場の確保が年々難しくなっている」「会場の減免や自治体の後援や助成を受ける手立てがないのか」などの声に応じて、得られた「公共スポーツ施設情報」を皆さんにフィードバックできることを目標に活動を開始します。まずは、スポーツ権平和運動局員が在籍する自治体の施設情報を集約することから、仕事を始めます。

優先予約の制度、利用料金の減免を受ける制度、自治体からの助成を受ける制度、コンベンシ



ョン協会からの助成制度などなどが、各県や各市ごとにまとめられることで、みなさんに有効な情報提供ができるようになることを目標に、活動を開始します。

国際活動局は次の活動について今期は重点的に取り組んでいくことを計画しています。



反核平和マラソンを世界に

(1) スポーツを通じて平和な世界、平和な社会の実現をめざすための連盟の重要な取組みの一つである反核平和マラソン及び関連事業を世界に発信していく。また、海外で開催される反核平和マラソンに積極的に参加し、運動を盛り上げていく。



仏ダブルダッチ団体との交流

(2) 新日本スポーツ連盟では未組織の競技種目であるダブルダッチについて、フランスの団体との交流を通じて、組織拡大に結びつく新たな国際交流事業を推進していく。今期はその準備期間と位置づけ、学校現場での実施状況などの情報収集や教育者、指導者らとの懇談をおこなっていく。

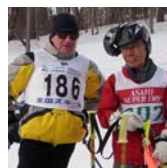


ビビチッタの普及

(世界同時マラソン)

(3) 国際的なチャリティイベントのビビチッタ・マラソンを普及していく。新日本スポーツ連盟が主

催するチャリティイベントはそれほど多くない中、横浜、大阪そして東京の3都市でイタリア発祥のビビチッタ・マラソンが開催されている。今期はさらに開催都市を増やすために各地のランニングセンターや地方連盟と協議していくとともに、本イベントの意義やおもしろさなどを幅広い層に知ってもらうための広報活動を強化する。



仏FSGTと全国スキー協の交流

(4) 全国勤労者スキー協議会が、2019年3月、創立50周年記念事業に招待する海外組織との取り組みをサポートし、交流事業の成功にむけて連携していく。

この他、具体化な取組みの計画には至っていませんが、オリンピック・パラリンピックの開催都市である2018年平昌(韓国)、2020年東京、2024年パリ(フランス)と、新日本スポーツ連盟と親交の深い組織が開催国に存在することから、「オリンピックと平和」といったテーマでこの数年の期間内に共同のイベントを企画検討していきたいと考えています。(国際活動局長 長井健治)

国際交流活動一覧表

	日本	韓国	フランス
2018	<ul style="list-style-type: none"> ・3月 FSGTダブルダッチ懇談会 ・8月 広島-長崎反核平和マラソン(仏8名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・1~2月 平昌冬季オリンピック開催記念 朝鮮半島平和定着のための世界平和大会 ・2月 平昌冬季オリンピック観戦ツアー(体育市民連帯との懇談会) ・6月 反戦反核平和マラソン 	
2019	<ul style="list-style-type: none"> ・3月 全国スキー協50周年記念事業(仏3名) 		
2020	<ul style="list-style-type: none"> ・8月 福島-広島-長崎反核平和マラソン 		

今後の取り組みとして、各都道府県でのスポーツ基本法の具体化(実践)を進める取り組みをいかに広く伝えるかが課題のひとつです。そのために、スポーツ連盟でそれぞれ行われている対自治体交渉の事例を紹介し、問題点を共有化してさらに進めていけるようにできればと考えています。

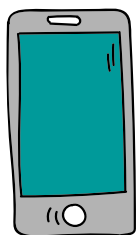
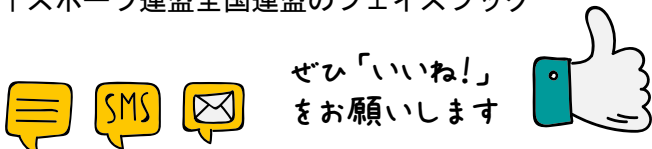
また、次世代を担う人材に、スポーツ連盟の活動をどのようにつなげていくかも重要な課題です。全国総会の分散会においても、「現在、組織を運営している私たちが楽しく活動しているか? 若い人たち、

参加者はよく見ている」「若い世代に当日の運営ボランティアを依頼するのは、なかなか難しい面もあるが、どうしたらよいか?」などの意見も出ていました。

こうしたことから、多くの若者が利用しているSNS(LINEやフェイスブック)の活用、充実したホームページの運用が必要です。スポーツ連盟のなかで、まだSNSやホームページを活用していない組織に対して、広報局が要望を聞きながらサポートしていきたいと思います。(広報局長 渡辺紀雄)



↑スポーツ連盟全国連盟のフェイスブック



「ホームページ(フェイスブックページ)を作りたいけれど、どうすれば…」という悩みのある組織をサポートします。お気軽にお問い合わせください。

TEL 03-3986-5401

2018年6月号 **スポーツのひろば**
現在 **2360部**



投稿募集中
各地の活動を誌面で紹介します!



ひろば編集部へのメールは

hiroba@njsf.net

スポーツ連盟の **スポーツ仲間の『助けあい』を!** **傷害見舞金制度**



行事加入型

1行事1人70円(1大会2日間まで対応)

スポーツ連盟もしくは加盟団体・クラブが主催する競技大会等の行事で発生した傷害と特定疾病を対象に給付が行われます。

詳しくは全国連盟 傷害見舞金係まで

給付金

死亡見舞金	(傷害)	200万円
	(特定疾病)	150万円
後遺障害見舞金(最高)	(傷害)	200万円
	(特定疾病)	150万円
入院見舞金日額	(傷害)	3,000円
	(特定疾病)	2,000円
手術見舞金	入院日額の10倍・20倍・40倍	
通院見舞金日額	(傷害)	2,000円
	(特定疾病)	1,000円

スポーツ連盟の全国種目組織、都道府県連盟のさまざまな取り組みを、三役会議、理事会、評議員会はじめ各部署の会議に反映し、スムーズな運営ができるよう取り組むのが総務局の役割です。

今期の重点課題としては、日常的な事務作業の他に、以下のことに取り組みます。

①リーダー養成・役員育成

「世代継承」とも関わって、「リーダー養成講座テキスト」を生かす取り組みを検討。また、スポーツ科学研究所から買い取りをした「50年史(スポーツは万人の権利)」(約360冊)を、連盟各組織で活用できるよう促進します。

②「分担金・組織検討委員会」への支援と提言

③顕彰制度

2020年第34回定期全国総会にむけて「第33期顕彰」の案内と申請を行います。

④スポーツ連盟の災害対応(マニュアル等)

各スポーツ連盟での「防災タウンページ」の活用を呼びかけます。(総務局長 佐藤信樹)



各地域別の避難所マップ、
災害用備品、
災害の知識・情報
などが載っています。
詳しくはホームページへ
↓

<https://bosai.itp.ne.jp>

第7回研究会の報告

スポーツ科学研究所

ロンドン・オリパラで残されたレガシーは何であったのか？

第7回研究会は3月28～29日に東京都内で開催されました。参加者は延べ22名でした。初日はシンポジウム「2012年ロンドン・オリパラで残されたレガシーは何であったのか？」がおこなわれ、シンポジストは金子史弥さん(筑波大学)と大沼義彦さん(日本女子大学)のお二人でした。

ロンドンと東京、そしてパリのオリパラを比較検討するに当たって、首都大都市でのオリパラ開催に共通してある程度普遍的に押さえられることと、それぞれの都市に個別的な状況とを区別と関連のもとに明らかにしていく視点が見えてきたように思います。ある程度普遍的に妥当することとしては、2週間で終わってしまう大会はやはり一過性のメディアイベントでしかないということであり、オリパラ開催とそのための政策には、都市開発と競技力向上策の観点でしか要望や注文を出すしかない現実があるということです。大都市でのオリパラ招致の背後にはその国や都市の政治経済事情が強く働いているわけですから。

従って、地域スポーツ振興策は普段からの地道な要求・要請、財源の増加、内容の吟味の運動が必要

であり、それを自治体行政にどうつなげていくか、行政と地元住民・団体とが協力して地域スポーツ振興策を創っていく取り組みが何としても必要です。それは新日本スポーツ連盟の課題でもあります。

(スポーツ科学研究所 青沼裕之)



スポーツ科学研究所のホームページが開設されました

<http://njsf-aiss.net>

第33期全国会議及び主要事業予定一覧 (2018年5月～11月)

全国会議・事業	都道府県連盟・全国種目組織
5月 13日	和歌山平和マラソン
19日	滋賀県連盟総会
19～20日	第41回全国選抜軟式野球大会(静岡市)
27日	和歌山平和マラソン
6月 2日	全国ランニングセンター総会(北海道)
4日	「スポーツのひろば」7・8月号発行
9日	第17回全国加盟クラブ交流卓球大会(三重県伊勢市)
10日	韓国平和マラソン
10日	あいち平和大好きマラソン
10日	全国卓球協総会(伊勢市)
9～10日	全国スキー協総会
10日	神奈川県連盟総会
13～23日	英国ウェールズウォーキング
16日	富山平和マラソン 石川平和マラソン
16～17日	全国スポーツ祭典ハイキング(宮城県)
17日	三重県連盟総会
17日	京都平和マラソン
23日	福井平和マラソン
24日	宮城平和マラソン
24日	愛知県連盟総会
7月 1日	大阪平和マラソン 三重平和マラソン
7日	東京平和マラソン
7～8日	神奈川平和マラソン
8日	大阪府連盟総会
8日	兵庫平和マラソン 和歌山平和大好きウォーク&マラソン
15日	千葉平和マラソン
15日	東京平和ウォーキング
22日	北九州平和マラソン
8月 1日	「スポーツのひろば」9月号発行
4～6日	反核平和スポーツのつどいin広島
5日	あいち反核平和マラソン&ジョギング
6日	滋賀反核平和マラソン
6日	広島城公園平和マラソン・ウォーキング
6～8日	広島～長崎平和マラソン
18～19日	全国バドミントン大会団体戦(静岡県)
25日	33期第2回理事会
9月 3日	「スポーツのひろば」10月号発行
17日	全国スポーツ祭典水泳大会(東京都)
10月 3日	「スポーツのひろば」11月号発行
6～7日	全国スポーツ祭典交流ウォーク(松島)
11月 1日	「スポーツのひろば」12月号発行
3～4日	全国スポーツ祭典軟式野球大会(岩手県)
3～4日	全国スポーツ祭典シニアサッカー大会(岩手県)
3～4日	全国スポーツ祭典バスケットボール大会(愛知県名古屋市)
4日	全国スポーツ祭典空手演武会(神奈川県)
11日	全国スポーツ祭典陸上競技大会(神奈川県)
10～11日	全国スポーツ祭典6人制男女バレーボール大会(新潟県長岡市)
10～11日	全国スポーツ祭典ソフトボール大会(福島県)
15日	全国スポーツ祭典ゴルフ大会(埼玉県)
17～18日	全国スポーツ祭典卓球大会一般の部(岩手県)
17～18日	全国スポーツ祭典テニス大会(宮城県)

*追加・訂正があれば全国事務局まで随時ご連絡ください。